

# 平成22年国勢調査境界データ定義書

Shape形式

ファイル名【h22kaxx.dbf】(xxは都道府県番号)

No.	フィールド名	項目内容	備考
1	KEY_CODE	図形と集計データのリンクコード	KEN+KEYCODE2
2	PREF	都道府県番号	
3	CITY	市区町村番号	
4	S_AREA	町字コード+丁目、字などの番号	KIHON1+KIHON2
5	PREF_NAME	都道府県名	1)
6	CITY_NAME	区町村名	1) CSS_NAME(ない場合はGST_NAME)
7	S_NAME	町丁・字等名称	
8	KIGO_E	特殊記号E(町丁・字等重複フラグ)	5)
9	HCODE	分類コード	2)
10	AREA	面積(m <sup>2</sup> )	
11	PERIMETER	周辺長(m)	
12	H22KAxx#	内部ID	
13	H22KAxx-ID	外部ID	
14	KEN	都道府県番号	
15	KEN_NAME	都道府県名	1)
16	SITYO_NAME	支庁・振興局名	1)
17	GST_NAME	郡市・特別区・政令指定都市名	1)
18	CSS_NAME	区町村名	1)
19	KIHON1	町字コード	町丁・字等番号
20	DUMMY1	ダミー1	"-"
21	KIHON2	丁目、字などの番号	
22	KEYCODE1	マッチング番号	CITY+KIHON1+KIHON2
23	KEYCODE2	町丁・字等別結果マッチング番号	
24	AREA_MAX_F	面積最大フラグ	
25	KIGO_D	特殊記号D(飛び地、抜け地フラグ)	3)
26	N_KEN	抜け地県番号	4)
27	N_CITY	抜け地市区町村番号	
28	N_C1	抜け地地図番号	
29	KIGO_I	特殊記号I(島フラグ)	6)
30	TATE	縦書き横書き	[0]
31	DIR	回転角度	[0]
32	HIGHT	大きさ	[50]を代入
33	JIKAKU	文字間隔	[10]を代入
34	NMOJI	文字数	[町丁・字等名称]の文字数
35	MOJI	町丁・字等名称	1)
36	SEQ_NO2	都道府県内連番	内部IDから1を引いた数
37	KSUM	基本単位区数	
38	CSUM	調査区数	8)
39	JINKO	人口総数	KIGO_EがEn(n≥2)の場合は0(ゼロ)
40	SETAI	世帯総数	KIGO_EがEn(n≥2)の場合は0(ゼロ)
41	X_CODE	図形中心点X座標(10進経度)	7)
42	Y_CODE	図形中心点Y座標(10進緯度)	7)
43	KCODE1	町丁・字等番号	KIHON1~KIHON2

※ 日本測地系と世界測地系の定義書の仕様は同じ。

※ 測地系は平面直角座標。ただし、北海道は12系、東京都は9系、鹿児島県は2系、沖縄県は15系

※ ラベルポイントは、ARC/INFO「centroidlabels」コマンドの「inside」パラメータで求めた位置。

※ △はブランク。

- 漢字コード:シフトJIS  
文字数は、出力桁/2
- 分類コード(HCODE)  
「8101」: 町丁・字等  
「8154」: 水面調査区
- 面積最大フラグ(AREA\_MAX\_F)  
「M」: 一つの市区町村内に同一の町丁・字等名又は町丁・字等コードを持つ境界が複数個存在した場合、一番広い面積を持つ町丁・字等境界。  
同一の町丁・字等名又は町丁・字等コードを持つ境界がない場合。
- 特殊記号D  
「D△」: 飛び地、 「D1」: 抜け地(飛び地)
- 特殊記号E  
「E1」: 町丁・字等別重複フラグ(代表)  
一つの市区町村内に同一の町丁・字等名又は町丁・字等番号を持つ境界が複数個存在した場合、グループを代表する町丁・字等境界。  
(いちばん広い面積を持つ町丁・字等境界又は、陸地に近隣している島がある場合は陸地部分)  
「En」: 町丁・字等別重複フラグ(代表以外)  
一つの市区町村内に同一の町丁・字等名又は町丁・字等番号を持つ境界が複数個存在した場合、グループを代表する町丁・字等境界以外の町丁・字等境界(n≥2で面積の大きい順)。

- 6) 特殊記号I  
「I」：島
- 7) 図形中心点座標
- 8) 当該町丁・字等の中の基本単位区(調査区)の数。(1対1の場合は1)